

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2021

No.173

令和3年8月17日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555

メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>



明日も楽しいことがいっぱいあるよ

会長あいさつ

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会

会長 田中 光朗



季節は移り、夏の日差しが強くなり、暑くなっています。

町民の皆様方には、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらも元氣で過ごしの事とお喜び申し上げます。

本年度の役員改選により、会長に再任いたしました田中と申します。社協の円滑な運営と地域福祉の充実に向けて努めてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症が発生してから19ヶ月をすぎ、社会・経済に大きな打撃をおよぼしました。それによりさまざまな行事が中止や自粛を余儀なくされました。しかし、地域福祉の充実を図るためには、こうした状況に即応した事業のあり方を考えていかなければなりません。町民の皆様の知恵をいただきながら、多様化するニーズに対応するべく社協役職員が一丸となり、活動を推進してまいります。

町民の皆様をはじめ、関係機関・関係福祉団体及び福祉施設各位の、なお一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。



新役員・評議員紹介

桂川町社会福祉協議会は、6月24日をもって、新役員体制となりました。旧役員の皆さま、任期期間中のご協力ありがとうございました。町内の各種団体と組織から推薦された10名の理事・2名の監事、23名の評議員で運営しています。なお、各理事と評議員は①広報、②福祉部、③高齢者、④障害者、⑤児童母子のいずれかの部会員として、地域福祉の向上に努めていただいています。

理事(10人)

氏名	選出母体	行政区
会 長		
田中 光朗	学識経験	笹尾一
副 会 長		
河部 寛	民生児童委員協議会	笹尾一
神崎 敏幸	区長会	寿命
理 事		
大村 和夫	老人クラブ連合会	九郎丸
藤井 康貴	高齢者福祉施設等 白藤の苑	弥栄
穂坂 靖	飯塚保護区保護司会 桂川分区	土師二
安河内浩子	婦人会	土居一
吉川紀代子	議会	笹尾一
右田よう子	ボランティア連絡協議会	土居三
川野 寛明	桂川町役場	土居一

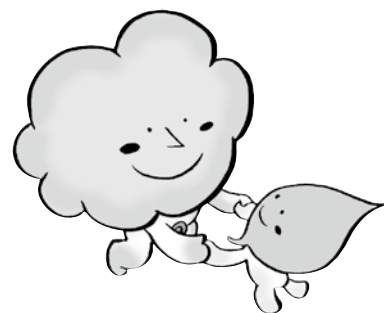
監事(2人)

氏名	選出母体	行政区
原中 政道	財務管理識見者	吉隈二
栗原 和子	社会福祉事業識見者	瀬戸

評議員(23人)

氏名	選出母体	行政区
川波 五月	民生児童委員協議会	土居一
瀬川 敏夫	区長会	二反田
藤本チドリ	老人クラブ連合会	豆田
芳中リツ子	身体障害者福祉協会	吉隈三
永井 豊貴	高齢者福祉施設等 さくら園	土居一
田原みさお	高齢者福祉施設等 白藤の苑	弥栄
谷口 裕司	高齢者福祉施設等 明日香園	土師一
佐藤 照子	障害者福祉施設 ワークランド桂川	吉隈一
若田 英樹	障害者福祉施設 嘉飯山ネットBASARA	飯塚市
池田 静子	人権擁護委員会	中屋
尾崎 龍司	飯塚保護区保護司会 桂川分区	弥栄
川村佳奈子	子ども会指導者連絡協議会	第一豆田
合澤 博之	学校 桂川小学校	土居一
佐藤千津子	食生活改善推進会	土居三
久保チツ子	婦人会	土居一
和智富美恵	母子会	土師二
大塚 和佳	議会	土居一
今田貴美子	ボランティア連絡協議会	土師三
中村 照子	ボランティア連絡協議会	九郎丸
足立 秀子	学識経験	第一豆田
松尾 忠介	学識経験	土師七
伊藤 昇平	桂川町役場	土居一
中嶋 政信	消防団	豆田

決算報告



令和2年度の決算について、5月27日・28日に監査を受け、6月7日の理事会、24日の評議員会で承認されました。事業の収支を報告いたします。

●収入財源の内訳

(単位: %)

会費	寄附金	県補助金	県・町助成金	県・町受託金	事業収入	共同募金	学童	雑収入	その他
1.90	1.33	0.04	33.81	1.69	0.28	2.93	56.88	0.06	1.07

●事業活動・その他の活動による収支

(単位: 円)

経理区分	収入	支出
法人運営事業	18,133,796	17,666,173
地域福祉活動事業	11,966,153	11,966,153
生活福祉資金貸付事業	667,111	667,111
献血推進事業	331,000	331,000
共同募金配分金事業	2,405,929	2,405,929
部会事業	197,000	197,000
子育て支援事業	65,000	65,000
学童保育所事業	44,541,767	44,541,767
合計	78,307,756	77,840,133
当期資金収支差額合計		467,623

前期末支払資金残高	1,293,934
当期末支払資金残高	1,761,557



●財産目録

(単位: 円)

資産の部	資産の内訳	金額
流動資産 16,067,531	現金	51,822
	普通預金	8,424,345
	当座預金	2,126,480
	事業未収金	1,655,167
	未収金	319
	立替金	3,767,398
	仮払金	42,000
固定資産 44,113,204	基本財産	1,000,000
	その他の固定資産	43,113,204
	福祉事業積立預金	3,198,285
資産合計		63,379,020
負債の部	負債の内訳	金額
流動負債 14,305,974	事業未払金	12,872,861
	職員預り金	1,245,113
	前受金	188,000
固定負債	引当金(退職金)	19,291,340
負債合計		33,597,314
純資産合計		29,781,706
負債及び純資産の合計		63,379,020

今年も終活セミナーを開催しました。

今年も終活セミナーを開催することができました。毎年、多くの方に参加していただいているセミナーのため感染予防対策をしたうえで行いました。

セミナーには多くの方にご参加いただき、大盛況でセミナーを締めくくる事が出来ました。今年度も終活だけでなく、介護保険制度に関する話もあり、とても充実した内容になりました。「終活」に暗いイメージをもっていた方も先生のお話を聞くなかで「やってみよう」「家族と話そう」等、前向きに終活に取り組まれている様子が伺えました。

終活に関する事で、不安なことや分からないことがありましたら桂川町社会福祉協議会が実施している終活相談会をご利用ください。まだ終活を始めていない方も、「終わりの準備」ではなく「今を生き抜く」ためにも終活を始めてみませんか？

今年度の終活相談の日程は次の通りです。

日程 8月26日(木)、10月28日(木)
12月23日(木)、2月24日(木)
時間 10時～12時(要予約40分/人)
場所 いきいきセンター「桂寿苑」
相談員 終活パートナー九州
代表 眞武純哉氏



ボランティア連絡協議会 30周年

『桂川手話の会』活動の歩み

昭和62年に、手話を通じて聴覚障害者との交流を深め、豊かな地域社会作りの一環に寄与することを目的に結成しました。活動の流れとしては、平成4年度に役員体制を整え、月1回の役員会を定着させ、定例会や活動の内容を決めたり、確認などを行っています。毎週木曜日に、ひまわりの里にて定例会を行っています。現在はコロナ禍で密を避けるため昼の部は人権センターを使用しています。

会員獲得を図るために、社協からの委託で昼は短期手話講習会、夜は行政からの委託で手話奉仕員養成講座(入門課程)を開催し、会員数を維持しています。

平成4年度より広報誌を作成し、年に3回発行しています。会の活動や案内などを掲載することで行事に参加できなかった会員への情報源になり、会の足跡にもなっています。

平成14年度より聴覚障害者の識字学級を始めました。読み書きのできなかった人が、携帯でメールができるまでになったので、現在では、2ヶ月に一度の料理教室(識字学級の一貫)のみを行っています。現在はコロナ禍で中止しています。

会員と聞こえない人との交流を図るため、野外研修やス

ポーツ交流会等の行事を企画・実施していますが、これもコロナ禍のため野外研修は、昨年中止しました。

地域で開催される講演会・研修会・イベント等の手話通訳を行い、聞こえない人達への情報提供と社会参加の手助けを行っています。また小学校・幼稚園への手話指導、社協事業への参加、行政からの意思疎通支援事業を受けて、病院などの手話通訳を行っています。

(右田よう子、澤田智恵子、竹山幸子)



『料理の会』活動の歩み

ボラ連の設立30周年、おめでとうございます。私たち「料理の会」は、平成20年に「男性料理の会」の名称で発足しました。初代会長は、中村寛さん。発足してすぐにボラ連の仲間入りをしました。社協主催で開催された男性料理教室の受講生が、自分たちだけで料理の勉強を続けることを目的として活動してきました。担当者がレシピを作り、それを見ながら参加した会員がお互いにアドバイスをし、料理に挑戦します。初めて手にする食材を使用することもありました。

発足から12年間の活動を経て、課題も見えてくるようになりました。どの団体も同じ悩みを抱えているとは思いますが、会員の高齢化です。そして役員の担い手不足。男性だけでなく

女性も会員として受け入れるようにするため、平成31年4月から団体名を「料理の会」に改めました。活動拠点であったひまわりの里の調理実習室が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1年間使用できず現在もその状況が続いています。今後どのように存続していくか模索中です。

(大村和夫)



『桂川町郷土史会』活動の歩み

桂川町郷土史会は、現在、会員26名が所属し、特別史跡 王塚古墳をはじめとする郷土の歴史や文化を学びながら、桂川町が「文化と歴史の町」であるとの認知度を高めるための活動を行っています。当郷土史会は、郷土史家で文化財ボランティア養成講座の講師を務めていた貝嶋亮三さんの呼びかけで平成3年に設立し、令和3年に30周年を迎えることができました。

この30年間、当郷土史会は春と秋に行われる王塚古墳の特別公演で、解説や受付を担当し、国の宝物で町のシンボルである王塚古墳を広くアピールしてきました。近年では、町内の小中学校で行われているセカンドスクールで、王塚古墳をとおりて郷土のことを知ってもらおうと解説を担当しています。また、王塚装飾古墳館で行われている歴史講座への参加や町内外の文化財を巡ることで、会員の知見を深めるとともに日々研鑽に励んでいます。その成果として、『歩こうふるさ

と桂川』を制作し、町内の文化財を解説するだけでなく、実際に見学できるようAからDの4コースに分けた散策ルートも考案しました。桂川町郷土史会では、随時、会員を募集しております。ふるさとについて知りたい方や歴史や文化に興味がある方は、ぜひご検討ください。

(神崎隼樹、皆越美奈子)



令和3年度 ～いたわりの この手が 福祉の町づくり～



社協とは？

桂川町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づいて設立された公共性の高い民間の団体です。

当社協は、区長会・民生児童委員協議会・福祉部・当事者団体・ボランティア団体・町内の福祉施設などと協力・連携をはかり地域福祉の推進に取り組んでいます。

賛助会費とは？

桂川町社会福祉協議会の活動に賛同していただける住民の方に、地域福祉事業の活動にご支援いただくものです。当社協が進める事業の財源は、皆様からの賛助会費・共同募金・寄付金と町からの補助金・受託金などです。賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で、重要な財源です。ご協力よろしくお願いします。

共同募金配分金事業

65,214円(4.4%)

- ◎風のたより配布
- ◎メッセージカード配布 など

子育て支援事業

65,000円(4.4%)

- ◎トライアングル活動助成金
◎リフレッシュ事業

団体活動助成事業

255,000円(17.1%)

- ◎衛生組合連合会
- ◎老人クラブ連合会
- ◎手をつなぐ育成会
- ◎障害者関係連絡会

法人運営事業

478,209円(32.0%)

- ◎ホームページ運営費
◎運営事務費 など

令和2年度 賛助会費実績

1,491,000円

令和2年度は、皆さまのご理解とご協力により、多くの賛助会費を集めることができました。

役職員一同、
深く感謝申し上げます。

※賛助会費は、
社協収入財源の
1.90%です。

地域福祉活動事業

627,577円
(42.1%)

- ◎福祉部活動事業の推進
- ◎レクリエーション・ボランティア
「クリップの会」派遣
- ◎サロン「ほっとスペース」
- ◎終活セミナー
- ◎公正証書相談会 など

令和3年度 賛助会費のお願い

賛助会費制となり41年目となります。令和2年度は、皆様のご理解・ご協力により、**1,491,000円**集まりました。この賛助会費は、地域福祉事業の活動に役立てられています。

令和3年度も、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』を推進するために、福祉のまちづくりに役立てていきますので、ご協力お願いいたします。

隣組長さんへのお願い

お忙しい中、大変ご迷惑をお掛けしますが、隣組長は指定の封筒にお取りまとめの上、**9月30日(木)**までに区長へお渡しいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1口
500円

[illegible]

桂川町協賛助会費納入袋

氏名 金額 月 年

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

協力ありがとうございます

桂川町社会福祉協議会
公式LINEを開設しました

この度、桂川町社会福祉協議会では、公式LINEを開
設いたしました。公式LINEでは社協に関連する事業
や、お知らせ等を配信いたします。スマートフォン等の
LINE登録ができる端末をお持ちの方は、是非ご登録
をお願いいたします。

ID:@854vorfkで検索または、
QRコードで友達追加をお願いします。



風のたより(表面)作成者および
アイデアを募集しています

毎月1回、民生児童委員さんに配布していただいている「風のたより」を作成していただける方を募集しています。

作成だけではなく、「この短歌・俳句は素晴らしい!」、「この記事を書いてほしい」、「この記事が役立った」などの情報を提供して頂くだけでも大歓迎です!ご協力よろしくお願いいたします。

桂川町社会福祉協議会 問合先:65-2271



ダンスでコロナに負けない体作りを

「グループホームみんなの家」では利用者様が地域において共同生活を送りながら、自立し、社会参加が出来るようになることを目指しております。

現在、男性11名が2棟にわかれて生活しております。日中作業では、生活介護事業を利用して、台所用・住宅用洗剤のラベル貼りや箱折り・環境整備等に汗を流し、活動中は集中して取り組んでいます。

プライベートでは登山や桂川町立図書館、トレーニングジムの利用など利用者様のニーズと行いたい要素を多く取り入れた活動を行ってききました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、ステイホーム・自粛生活が続く、運動不足、体重の増加が進みました。このようななか、家庭内でできるエクササイズダンスを見つけ、これにチャレンジしてみました。それが利用者様に好評で配信動画を見ながら人気曲のダンスを次々にマスターしています。ダンスはストレス解消にもなり、無理せず楽しみながら体を動かし運動不足を吹き飛ばしています。



コロナに負けない心と体を整えることで一日も早いコロナの収束を願い、今後も自立を目指し健康で楽しい生活を過ごしていただけるよう、職員一同頑張ります。

サポートスタッフ
金澤 良太



明日香園ケアハウスでは入居者の日々の活動に力を注いでいます。コロナ禍において、以前では当たり前のように行っていた外出や食事会も難しくなりましたが、ケアハウスで生活を送っている入居者の方とはとても元気で、時には私たちを明るく励ましてくれます。

限られた環境の中で、日々工夫を施した催しを行っています。

5月23日に開催した運動会では、密にな

**運動会で
コロナを
吹っ飛ばせ！**

明日香園ケアハウスでは入居者の日々の活動に力を注いでいます。コロナ禍において、以前では当たり前のように行っていた外出や食事会も難しくなりましたが、ケアハウスで生活を送っている入居者の方とはとても元気で、時には私たちを明るく励ましてくれます。

らないように競技内容を工夫し、その中でも風船わりや玉入れは白熱した戦いになりました。

また、後日には、運動会の録画映像を観ながらマクドナルドのハンバーガーを食べたことも思い出となったようです。以前のような生活スタイルに戻るまでには、長い時間がかかると思いますが、入居者の記憶に残る活動を日々考えていきたいと思っています。

明日香園ケアハウス 惣門 健太



お知らせ

福祉のつどい

～ひまわりフェスタ2021～

今年度は講演会を行います。

日時 9月26日(日)・9月27日(月)
11時～12時30分

場所 住民センター 大ホール
内容 26日(日)

令和で変わる「ふくし」

変わらない「ふくし」

27日(月)

私もあなたも地域の担い手

～つながる喜び つなげる喜び～

講師 mottoひょうご

事務局長 栗木剛氏

定員 150名

要申込 定員に

なり次第締切



- 吉限一 豊田 文香様(故母トヨコ様)
- 豆田 中嶋 和幸様(故母カズ子様)
- 伏見 和子様(故夫喜久男様)
- 野見山 義登様(故母 政子様)
- 諫山 直子様(故夫修一郎様)
- 土師三 三宅 一夫様(故母フシ子様)
- 穂坂 雅裕様(故母恵美子様)
- 遠藤 幸人様(故父 光春様)
- 土師七 末永 邦子様(故夫 光昭様)
- 笹尾一 山口 早苗様(故夫 敏助様)

訂正とお詫び
社協だより第172号の香典返し寄付金の記載につきまして、誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。
(誤) 弥栄 黒木 秀美様(故母アヤ子様)
(正) 笹尾一 黒木 秀美様(故母アヤ子様)

●吉限二 芳中 英治様
寄付金合計 263,000円

香典返し寄付金

一般寄付金

令和3年5月1日～令和3年7月31日

ありがとう
ひまわりフェスタ



桂川町幼稚園からのお知らせ

子どもたちが楽しく学び、大きく育つ幼稚園教育を!

桂川幼稚園では「健康で健やかに育ち元気に遊べることも」、「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」、「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成を目指しています。

特に本年度は、小学校へのスムーズな接続を図るため、桂川東小学校1年生とのサツマイモの栽培活動や桂川小学校5年生との給食体験・交流など、小学生との交流活動に力を入れています。このような幼小の連携は、町内にある公立の幼稚園であるからこそ円滑に進めることができます。

また、ワークブックを活用した数の概念を育むための指導や、子どもの知識をまとめ、広げる「がくしゅうあそび」のワークブックも取り入れています。指導に当たっては、小学校低学年における授業の進め方を取り入れ、園長と担任できめ細やかに行っています。

このような取組により、園児が小学生への憧れや小学校生活への期待感をもつことができ、幼稚園での学びと育ちを小学校生活につなぐことができると考えています。また、英語活動やキッズヨガ、手話など、専門講師を招いての活動も、楽しみな時間として子どもたちに定着しています。

本年度の夏休みから、平日に加え、長期休業中の預かり保育を実施(8:30～17:00 無料)するほか、週2回の給食も引き続き実施しています。

桂川町立桂川幼稚園
園長 城石 俊弘



幼稚園内での活動等、詳細についてはホームページをご覧ください(QRコードの読み取りでホームページに遷移します)。



▲楽しく数のお勉強



▲小学校の給食はおいしいよ!

今年も開催!

うきうきレクリエーション講座

新型コロナウイルスの感染を避けるために自宅に閉じこもりがちになっていませんか? 閉じこもりは運動不足、筋力低下、意欲減退につながります。

自宅でできる簡単な運動をはじめとし、参加者と楽しく交流してみませんか? お互いに感染予防対策を徹底したうえで、運動不足を解消しましょう。

第1回: 11月2日(火)10時～12時 ひまわりの里

クリップの会の指導による手遊びや遊具を使っのレクリエーション

第2回: 11月16日(火)10時～12時 ひまわりの里

福岡県レクリエーション協会 佐藤靖典氏を招き、密にならないようにレクリエーションを学びます。

託児ボランティア養成講座

子どもの見守りや一緒に遊んでいただく託児ボランティアを養成する講座を開催します。資格は特に必要ありません。子育て経験やちょっとした時間を活用して、子育てボランティアに参加してみませんか?

第1回目	9月29日(水)	救命講習(日本赤十字社)
第2回目	10月 6日(水)	「おはなし」のコツ(布っ子)
第3回目	10月13日(水)	手芸(布っ子)
第4回目	10月20日(水)	託児体験(Wa-Wa)

時間 10時～12時

場所 いきいきセンター桂寿苑

参加費 無料(託児が必要な方はご相談ください)

定員 10名(要申込)

申込 各講座の1週間前まで

※第1回と第4回は実技を伴いますので、動きやすい服装でご参加ください

問合・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

このひとに聞きました

たなか のりこ
田中 智子 さん

プロフィール

◎年齢 36歳
◎住所 豆田
◎趣味 旅行、カラオケ、家庭菜園

■聞き手
小出 悦子
川村 佳奈子

桂川駅前で「遊びの教室 リリー」という発達や子育てに悩みがある方への支援をされている田中さん。「子どもの特性を捉えて一緒に苦手な部分の工夫を探索することが仕事です」と支援に対する熱い思いを語っていただきました。どんな人でも利用して良い田中さんのお仕事とはいったい？

Q1 これまでの経歴を教えてください。

高校生のときにボランティア活動を通して、発達症がある方々と関わりを持ちました。それがきっかけになり、大学で発達症に対する支援を学び、就職後は海外の専門家からも療育技法のトレーニングを受けながら療育や学校・施設コンサルテーションなどを実践してきました。

Q2 どういうことをされているのですか？

診断の有無や年齢問わず、個別支援やグループ支援を行っています。発達

Q3 やりがいや喜びは？

日々、子どもさんの成長を見させて頂いていることが幸せです。最近も高校生になったよ、就職したよ、ありがとうと幸せな報告を受けました。子どもの成長や発達をサポートする仕事を出来ていること自体が喜びですね。

Q4 次の夢・目標はなんですか？

これまでもこれからも、子供や家族が幸せで楽しく過ごせることが一番の願いであり、私が支援をする上での目標です。

また子どもの特性や、その支援方法について保育・教育現場における理解を広めることも目標としています。子供の特性の理解、様々な支援のアイデアや技法を取り入れて頂くための活動を継続して行っていきたいです。

子供が安心して幸福に過ごせることが一番です。一人で抱え込まずに一緒に考えましょ。

楽しくチャレンジ



編集後記

桂川町ボランティア連絡協議会(以下「ボラ連」という)が令和2年度に結成30周年を迎えました。結成当時は、6グループの代表の方々が、日夜苦勞しておられました。会則にある「グループ相互の協力や活動の推進」も各々のことで精一杯でした。この頃の桂川町

は行政も社会福祉協議会も厳しい状況にあり、「ボラ連」はもちろんのこと、各グループの自立を促されていました。私が所属する手話の会も結成4年目で、自分たちで出来る事を出来る範囲でやって来ました。

社会環境の変化に伴い、ボラ連としての取り組みは、先ず福祉のつどいへ参加。学習が必要だということで、ボランティア活動が活発な市町村へ視察・交流を行いました。飯塚病院と共催で出前講座を実施しています。(コロナ禍で昨年、今年は中止)。

平成14年度、商工まつりのときに、赤い羽根共同募金を始めました。平成18年度からはボラ連専用のジャンパーを着用し、王塚古墳まつりに合わせて赤い羽根共同募金をするようになりました(昨年はトライアル、桂川駅で実施)。平成18年度からは小中学生の夏休み体験教室を各グループの取り組みを活かして活動を続けています。

この30年間に退会・入会がありました。10を超えるグループ規模を誇ったボラ連も近年構成員の高齢化と、昨年来のコロナ禍による活動の制約もあり退会が相次ぎ、淋しいものです。一日も早いコロナ終息で、安心してボランティア活動が再開できることを切に願っています。

広報部員 右田よう子



絵：九郎丸 中野 美智子

令和3年度 委嘱状交付式&福祉部長連絡会

6月26日(土)に福祉部長連絡会を開催しました。連絡会では、特定健診についての説明と、福祉部委嘱状交付式を行いました。土師六区福祉部長の久留島美千代さんに35行政区を代表して福祉部長及び福祉員の委嘱状を受理していただき、福祉部活動推進のご協力をお願いしました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のために多くの福祉部活動が自粛あるいは縮小となりました。そのような状況下でも感染予防をしつつ積極的に活動を行われた土師六区福祉部の久留島さん、井上さん、畑崎さんに活動報告をお願いしました。

土師六区は、488名(※1)の方々が生活しています。高齢化率は、26.0%と町内で4番目に低く、若い世代も沢山住んでいる行政区です。

令和2年度の活動について「コロナ禍の中、活動しづらくなっているが、高齢者は体力低下しやすいので、ソーシャルディスタンスを保ち、工夫しながら活動を実施していきたい」と方針を掲げ、推進されました。

報告のなかで「自粛でやりたいことをあきらめたりしないで良いように地域で支え合っていこうと思っている。今は、活動し難い状況ではあるけれど、参加した人からありがとうと感謝の言葉を聞くと、大変だけどまたやろうと思う原動力となった。人と人との繋がりを再確認できた1年だった。」と言われました。

今年度も感染予防を行いながらの活動になるため、活動の参考になったのではないかと思います。

(※1)令和3年4月1日時点

